

匠の街春日部かわら版

発行 株式会社コーワ
編集 共栄大学発ベンチャー
旬かひじやごっこ

「ぶらり散歩」-30- 日光道中乗橋宿・乗橋関所

前号で取り上げた東北自動車道UPRの鬼平のルーツ、日光道中乗橋宿の乗橋関所周辺をぶらりしてきました。

江戸時代の乗橋宿は、江戸と日光を結び交通量の多い五街道の一つに数えられた日光道中第七番目の宿場、徳川將軍の日光社参などで賑わいました。利根川の渡船である房川渡し(ぼつせんわたり)や日光道中唯一の乗橋関所が設置されていました。

(なかだ、茨城県古河市)とを結び渡船場の名称をとって「房川渡中田御関所」と呼ばれ、「入鉄砲(いりてつぱう)に出女(でおんな)と呼ばれる取り締まりや、武器の通行の監視、諸大名の妻子の国元への逃亡の取り締まりなどを厳しく取り締まっていた関所

所の記録が残っています。

乗橋関所が設置されたのは、江戸時代初頭で寛永元年(1624)です。関所の警衛にあたる番士が幕府から任命され、関所の周辺に屋敷を構えており、発掘調査によっても、江戸時代末期から明治時代にかけての礎石や茶碗などが出土したようです。

利根川の水害によつてたびたび流された乗橋関所は、重要な箇所として長きにわたって人々の通行を取り締まってきました。明治2年(1869)に廃止されましたが、大正13年(1924)に利根川橋の開通を記念して、近隣の人々によつて「乗橋関所址碑」が建てられています。(左上写真)

現在の乗橋町を一望できる高台には古刹八坂神社が鎮座しています。正確な創建年代は不詳ですが、寛永年間(1624頃)には、日光街道乗橋宿の総鎮守として崇敬されるようになったとされています。「じいば、話題の狛犬(こまいぬ)ならぬ狛鯉(こまこい)の像があります。対になった鯉の像があり、利根川の洪水に関わる八坂神社縁起に由来したものといわれています。なかなか見る機会がない狛鯉を堪能できました。



坂神社縁起に由来したものといわれています。なかなか見る機会がない狛鯉を堪能できました。この乗橋は、悲恋のヒロイン静御前の地として有名です。静御前は源義経の内妻で、義経奥州下向のち、そのあとを追う奥州に向かう途中、義経の討死を知り、かなしみに堪えられず、仏門入り、菩提を誓うために、下向をまきらめ立ち戻る途中、病気のため(伊坂(旧村名、静村)の地)で文治5年9月



150日(1-180)に1つになり、当時の地であった高柳寺(現・中田の光寺)にゆかりに葬られたという伝説が残っています。毎年、静御前の命日にあたる9月15日には、静御前墓前祭が行われ、地元若者が静御前などに扮するきらびやかな行列が見られるようです。



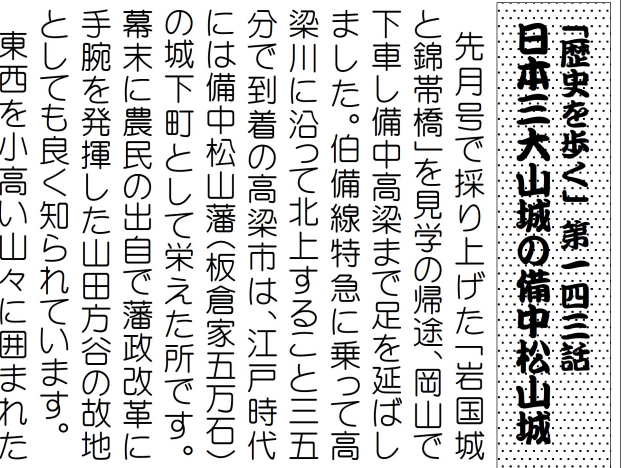
先月号で採り上げた「岩国城と錦帯橋」を見学の帰途、岡山で下車し備中高梁まで足を延ばしました。伯備線特急に乗って高梁川に沿って北上すること三五分まで到着の高梁市は、江戸時代には備中松山城(板倉家五万石)の城下町として栄えた所です。幕末に農民の出自で藩政改革に手腕を発揮した山田方谷の故地としても良く知られています。

「歴史を歩く」第一四三話 日本三大山城の備中松山城



東西を小高い山々に囲まれた縦長の地形の間を高梁川が流れ、その東岸に市街地が開けています。街中は城下町の風情が色濃く残り、小京都の一つに数えられています。格式高い武家屋敷の立ち並ぶ石火矢町は一五〇Mにわたり長屋門や白壁の土塀が続き、江戸時代にタイムスリップしたような感覚になります。武家屋敷とともに見応えのあるのは、かつては城の外堀の役割を果たしていた紺屋川界隈で、川岸には桜と柳の並木道が続き、古い町屋や藩校有終館跡など情緒豊かな風景が広がっています。

高梁はまた、城下町に特有の寺院の多さが目につきます。城郭のような高石垣に囲まれた高梁駅近くの松連寺や武家屋敷に隣接した頼久寺の枯山水の庭園は小堀遠州の手に成るもので、小京都ならではの見所です。こうした城下町の風情は、萩や角館、金沢等にも見られますが、いかにも観光地然とした感じと比べると、高梁は観光客も少なく静かなたたずまいが古き時代への郷愁を誘います。



備中松山城

日本一の高所にある天守への道筋は、山麓にある御殿跡の高梁高校の前の道路から始まりですが、途中のふいご峠まではバスもありません。しかし、バスを降り後車もやや急こう配の坂道を徒歩で登らねばならず、かなりの健脚を必要とします。

現在、天空の城竹田城(兵庫県朝来市)が脚光を浴びています。松山城も条件が揃うと雲海に浮かぶ幻想的な姿が見られ、隠れた撮影スポットとして人気が出ています。

(注)三大山城：他に高取城(奈良県)と岩村城(岐阜県)

【筆者紹介】内藤 敏雄
松実教育総合研究所理事、全国歴史研究会理事、都市銀行で国際金融に携わり、シンクタンクのエコノミストを経て、大学教授に転身。専門は国際経済・金融。中学以来、歴史は歴史で、現在も歴史探訪とエッセイ執筆を続ける。

8月号 Vol.308
2024年8月20日 (火)

発行所：(株) コーワ
発行者：広地 進
制作・編集：(有)かいしゃごっこ
発行日：毎月20日発行

読者の広場

朝日新聞と森永牛乳を皆様の笑顔のために届ける情報誌

ASA 春日部

〒344-0055
春日部市八木崎町1-19
☎0120-86-1637 FAX:048-761-0044
http://www.asa-kowa.com



コーワ春日部ミルクセンター

TEL:048-753-1800 FAX:048-761-3036



漢字パズル
漢字パズルは、パズルに漢字を白マスに入れて、漢字しりとりを完成させてください。リストに残った四つの漢字でできる熟語が答えです。

正解の方に抽選でプレゼント致します！
(希望商品を2つまで書いてください)

- ①朝日新聞 天声人語書き写しノート 10名様
- ②森永絹ごし(こ)豆腐(常温保存可) 5名様
- ③森永充実野菜(常温保存可) 3本 5名様
- ④森永まろやか黒酢(黒糖&りんご味) 3本 5名様

リスト
会曲事人前代転年名
回機子心線大通動法
円器健秋性帯長等分
雨感月質生体着電部
用歴

→秋		離		熱		
		会	均	身		
	活	履		理	団	機
		信		供		一
	学		団	月		舞
		操	見			校
	康		転	挽	誉	
		剛	実		受	活

難易度 ★☆☆ (初級)

造	酒	前	食	本	日	暑	猛
花	房	文	明	説	小	編	長
火	具	宝	子	菓	水	止	係
大	体	飾	熱	高	上	鏡	関
会	案	品	帯	夜	売	明	力
議	外	行	人	気	商	証	筋
録	来	物	理	学	生	背	中
音	楽	庭	的	中	肉	中	

先月号の答えは『睡眠不足』でした。

クイズ応募者41名様で、41名の方が正解でした。

☆☆☆「漢字ぐるぐるパズル」クイズ解答応募先☆☆☆

ハガキに「答え」と住所・氏名をご記入の上
〒344-0055 春日部市八木崎町1-19 (株)コーワ「漢字ぐるぐるパズル」係までコメントを添えてご応募ください。
8月28日消印有効(当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。)



米軍ハウスから実感する日米の矛盾

朝日新聞立川支局員 山浦 正敬

正直、矛盾を実感しています。でも……。
東京・立川市に残る「米軍ハウス」で50年暮らす銅板造形作家が心境を明かしてくれました。

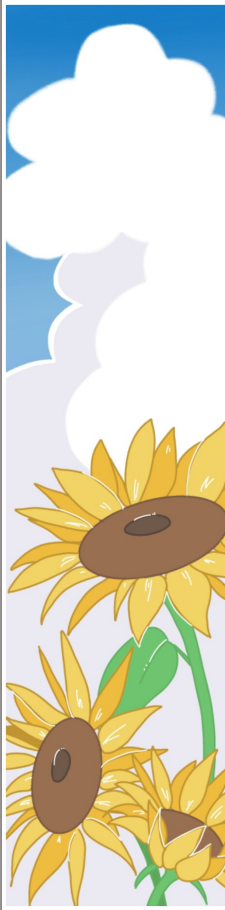
米軍ハウスは、戦後に進駐・駐留した米軍の家族用の住宅です。洋間の家に玄關前には庭、駐車スペースがあります。民間企業も大規模な開発をしました。朝鮮戦争やベトナム戦争のころが中心です。

その後、基地返還などに伴って空き家が増えまし
た。そこに芸術家ら若者が移り住んでいきました。造形作家もそんな1人です。当時はまだ、反戦や反権力を訴える学生運動が続いていました。造形作家も、旧来の価値観に対抗する「ヒッピー族」の拠点となりました。一方で、戦争を続ける米軍の軍人用住宅を住宅兼工房にし、そこで結婚し子育てします。

「コミュニティーを考えたい造りなので開放的で、近所つきあいが盛ん。居心地がいいのです」
造形作家の住む米軍ハウスは7軒が長屋風に連なるタイプです。玄関前の芝生の庭も隣とは低い柵が仕切るだけです。

米軍ハウスの「負の文化」についても造形作家は語ります。軍人相手に「商売」する女性たちが出入りしていた歴史です。終戦から79年たっても、沖縄などに目を向ければ、在日米軍基地の問題や軍人による事件が相次いでいます。

「基地の歴史とつながる住宅で、日米の矛盾の中に生きている。そんな思いも伝えたいといけな思考えます」



【イラスト:あやか】

Cooking

インゲンのザーサイ黒酢マリネ

1人分139kcal 塩分2.2g 10分
*の時間は除く

- 材料(2人分)
- インゲン.....15本(130g)
 - 味つきザーサイ.....15g
 - 長ネギ.....1/4本
 - サラダ油.....小さじ3
 - 塩.....ひとつまみ
 - ① ゴマ油.....小さじ1/2
 - 砂糖.....小さじ1
 - しょうゆ.....小さじ1
 - 黒酢.....小さじ1



- 【作り方】
- ① ザーサイと長ネギは粗みじん切りにしてバットに入れる。②を加えて混ぜる。
 - ② フライパンにサラダ油を弱めの中火で熱し、インゲンを入れる。ときどき転がしながら5分ほど、竹串がすっと通るまで揚げ焼きにし、取り出して塩を振る。①に加えてあえ、15分おく。

料理・市瀬悦子 撮影・木村拓

当店ご購入者様へ

便利なWEBサービスを開始しました! WEBからお休みのご連絡や各種お申込みを受付けるサービスを開始しました。24時間365日ご利用いただけます。
【PC/スマホの方】 <https://www.asa-kowa.com>
☆携帯の方はこちら
【空メール: y@asa-kowa.com】



※件名、本文は必要ありません。
※受信制限をご利用の方は、「asa-kowa.com」からのメールを許可してください。

お便りコーナー

◆オリンピックがパリで始まる。オリンピックは「平和の祭典」と言われるが、今はウクライナやパレスチナなど、とても平和と言えない。いつになったら、人々に平和が来るのか。複雑な思いがする。日本人が活躍すると嬉しくて元気が出るのだが、今回は時差もありゆつくり見られそうにない。暑い夏が終る頃、世界はどうなっているのだろうか。
【大枝 Y.Nさん】

◆今年結婚して50年。高校のクラス会の案内も、50年を東北で祝おうとのこと。どちらか青春あつての話。友も白髪になったぞつな。
【大沼 T.Sさん】

◆熱帯夜が続く夏、睡眠不足になりがちです。睡眠の量もさることながら、質が問題ですね。個人的にはどちらも十分ではないような…。寝苦しい夜が、今日もやってくる。【備後東 K.Nさん】

◆今夏はゴーヤが実をつけず、花が咲いては落ちてしまっています。葉の色はとも涼しげですが、実も食べたかったなああと少し残念です。
【中央 M.Sさん】

◆先週夏祭りをみました。私の夢は西口の駅前から大沼公園へ一直線のみこしパレードを見たいです。東口商店会の会員の皆様の配りよで一日は東口、一日は西口のパレードができれば市の大きな祭りになるでしょう?。
【梅田 K.Eさん】

◆7月も翌日から下旬に入る日に高校の同級生11人と早目の暑気払いに参加してきました。74歳と75歳の男ばかりの集まりはいつも通りに楽しい時間でしたが、後期高齢の域に達した証しなのか頻尿や聴覚劣化の話が多くなり、かつての紅顔の美少年の面影を見つめるのは困難になってきました。それにしては宴会会場となつた上野は暑かつたです。
【豊町 T.Tさん】

◆市の健康診断が要再検査になりました。気分はたちまちブルー。でも早くはつきりさせ、対応出来るのだからフッキーとも言えます。心を落ち着かせたいもどおり過すことに。朝はウォーキング。晴れたらスカイツリーも見ると教えてもらい、楽しみが増えました。「散歩道 汗拭く手を止め、振り合つ手」
【大沼 N.Tさん】

◆田舎に里帰りした友人が、生れ故郷の夏祭りの屋台の写真を送ってくれた。京都のきおん祭りや、都会の夏祭りの華やかさはないけど、60数年前、親に連れられて、浴衣を着せてもらった祭りをなつかしく思い出した。あの頃小学生だった友人たちも、子や孫に囲まれて元気にすごしているだろうか。
【大沼 M.Iさん】

◆「歴史を歩く」から。岩国を旅したのは10年前。錦帯橋(日本三名橋)アーチの美しさに感激! 遠くから愛するのよよし、近づいてみるのよよし。そして渡つてみるのよよし。高齢になりもう登れません。
【栄町 T.Sさん】

◆毎年夏の恒例行事である高校野球の地方予選を冷房の利いた部屋で観戦している。酷暑の中で汗と下口にまみれて懸命にプレーしている選手の姿を観ていると当方も勇気づけられる気がする。
【備後西 Y.Tさん】

◆高校野球の甲子園予選の母校を応援に神宮球場に行つてきました。そつこいはこのあたりも再開されて大きく変わるよつですね。でも樹木は大切にしてください。
【増田新田 H.Sさん】